令和５年度 河北郡市中学校新人剣道大会

**１　日　　程**令和５年９月１６日（土）　９：２０～１６：００

|  |  |
| --- | --- |
| 　　　　　　　　　７：３０　開場 　８：２０　監督会議 　８：４０　審判会議 　９：００　開始式 　９：２０　競技開始女子個人戦男子個人戦女子団体戦 | 　　　　　　　（昼食休憩）１２：１５　男子団体戦１４：００　閉会式・表彰１４：２０　剣道級位審査１６：００　終了 |

**２　会　　場**新化館

**３　種　　目**1)　男子団体戦・女子団体戦　　　　　2)　男子個人戦・女子個人戦

**４　競技方法**

　1)　競技規則　　全日本剣道連盟剣道試合・審判規則ならびに中体連申し合わせ事項により行う。

　2)　試合方法

　　①男女団体戦　ア　試合は３分３本勝負。延長は行わない。

　　　　　　　　　イ　男女共にリーグ戦を行う。

　　　　　　　　　ウ　各対戦の勝敗は勝者数、取得本数の順で決するが、同点の場合は引き分けとする。

　　　　　　　　　　　（勝ち１点、引き分け0.5点、負け０点）

　　　　　　　　　エ　リーグ順位の決し方は、勝点、勝者数、取得本数の順で決するが、いずれも同点

の場合は代表戦を行う。代表戦は監督の指名選手１名とし、１本勝負を時間を区

切らずに行う。

　　　　　　　　　オ　代表戦の延長は個人戦と同様とする。

　　②男女個人戦　ア　トーナメント戦とし、３分３本勝負、延長は「２分２回、小休止、２分２回、水入り３分」の順に、勝敗が決するまで行う。小休止は主審が選手に深呼吸をさせ、続行可能かを確認するものとし、水入りは面を外し、給水ができる。

　　　　　　　　　イ　各校出場選手の人数枠に制限はない。

　　　　　　　　　ウ　個人戦において、加賀地区新人大会出場決定戦を行う。

**５　参加規定**

　1)　団体戦は１校男女各１チームとする。

　2)　１チームの編成は監督１名、マネージャー１名、選手５名、補員２名以内とする。

３名以上で出場可能であるが、３名の場合は次鋒、副将を空け、４名の場合は次鋒を空ける。

　3)　参加する選手は品行方正で中学生らしい身なり、行動をとらなければならない。生徒指導上の見地から中学生らしくない身なりや行動があった場合、協議のうえ大会長の最終判断のもと出場を禁止する場合がある。

　4)　監督は当該校の校長・教員・部活動指導員であること。又、監督の服装はネクタイ着用が望ましい。また、団体戦と個人戦が別の監督でも認める。

**６　表　　彰**　　団体戦は上位２校まで表彰する。個人戦は上位４名まで表彰する。

**７　加賀地区新人大会出場枠**団体　男子４校、女子４校

個人　男子代表の部　上位５名、女子代表の部　上位７名

**８　申し合わせ事項**

　1)【試合規則に関すること】

　　①　不正竹刀を使用した場合、使用者は負けとし、相手に２本を与え、その試合の既得本数及び既得権を認めない。またその後の試合を継続することはできない。但し、団体戦と個人戦は別に扱う。団体予選で使用が発覚した場合は決勝トーナメントより補員の補充を認める。

　　②　つばは茶系統か白色とし、直径9㎝以下の物を使用し、柄の上部一杯に固定する。

　　③　団体戦での補欠選手の入れ替えは、監督会議の前に診断書を添えて本部に申し出る。

　　④　整列は審判側が先鋒となって並び、互いに三歩で開始線に進める間合いを保って立礼をする。先鋒と次鋒は面をつけ竹刀を持つ。次鋒が不戦の場合は中堅まで面をつけておく。

　　⑤　紅白の目印は出場校で用意し、取りつけ取り外す。（幅5㎝長さ70㎝）

　　⑥　面紐は結び目から40㎝以内になること。また面紐・胴紐とも華美なものは使用しない。

⑦　先鋒戦、大将戦は正座にて観戦させる。

　　⑧　試合場フロアへの時計類の持ち込みは禁止する。

　　⑨　応援は拍手のみとする。試合中の選手への指示やサインは禁止する。

　　⑩　応援旗や激励旗などは持ち込まない。

　2)【審判規則に関すること】

　　①　礼法を確実に行う。

　　②　突き技は禁じ技とする。故意に突っかかるような突きは反則とすることがある。

　　③　片手技は有効としない。（ただし隻腕の場合などは片手技および上段からの技を認めるが、この場合監督は審判会議、監督会議において氏名を報告する）

　　④　選手の足袋（市販の剣道用のもの）・サポーター・テーピングの使用は、医療上必要と判断されれば、見苦しくない範囲で可とする。

　　⑤　試合規則の実施に関して疑義のある場合は直ちに（次の選手の試合が始まるまでに）監督が監督旗を表示し、審判長（又は審判主任）に対して申し立てができる。

　　⑥　「変形な構え等の防御姿勢」をとった場合、合議のうえ１度目は指導、２度目からは反則とする。

　3)【その他】

　　①　剣道着や袴への校名・校章等の刺繍や面の乳革は、大きさ・色を含めて華美にならないように配慮する。

　　②　会場での竹刀の放置（アップ時の場所取りなど）は厳に慎む。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ○○中 | 先鋒 | 次鋒 | 中堅 | 副将 | 大将 |

　　③　水分補給などはフロアの隅で行うこと。

　　④　監督・選手以外はフロアに入らない。

　　⑤　団体戦のオーダー表は各学校で作成し、当日受付に

提出する。

（模造紙１／４サイズ　タテ約２７㎝×ヨコ約８０㎝）

**９　そ の 他**　大会での怪我に対しては、応急手当のみ行う。

**10　主　　催**河北郡市中学校体育連盟

**11　後　　援**北國新聞社　津幡警察署　河北郡市剣道連盟